

2009. 6. 22

9/6

注目の価格

プラスビジョン、10万円切る電子黒板



プラスビジョン（東京都稲城市、福島真一社長）はシート状の電子黒板を開発し7月上旬に発売する。希望小売価格は9万2400円からで、国内の電子黒板市場で10万円を切る商品は珍しい。政府は小学校などに電子黒板の活用を勧め、市場の拡大が見込まれている。低価格化することで市場開拓も目指している。

電子黒板はパソコンの画面をプロジェクターで投影して使う。専用ペンを用いて黒板上で通常のパソコン操作ができるほか、文字や図を書くことができる。書き込んだ内容を接続したパソコンに反映することも可

値ごろ感打ち出し市場開拓

能。国内では教育機関による需要が9割近い。

新商品「ユービック」は厚さ0・4mmのシート状にした。重さは1・5×2・5寸なので折り畳んで持ち運ぶことができる。裏面はマグネットで黒板やスチール板などに張り付けられるので狭い場所でも使いやすく、原材料費も安いという。

専用ペンにはスウェーデンのアノト社（ルンド市）が開発したデジタルペンを採用した。書き込んだ文字や図などの位置情報をペン先から短距離無線規格「ブルートゥース」を使ってパソコンに送信する仕組み。従来品と違い、パソコンと接続するための配線や電源コードを無くした。

シートの大きさは56センチと64センチ、72センチの3種類をそろえた。希望小売価格は9万2400円、11万3400円、13万4400円。ペン先の位置情報を把握するための圧力センサーなどが不要で、コストを削減できたという。

国内の電子黒板市場では内田洋行がトップシェアだが、値ごろ感と使い勝手の良さを売りにシェアの拡大を目指す。